理化学研究所寄附金
年次報告
2023年度

理化学研究所

Ⅰ　ごあいさつ

理研は、1917年の発足時から百年余り、誰もが自由に遠慮なく討論し合える理想的な研究環境を「理研精神」として受け継ぎ、「世界のRIKEN」として多くの研究を積み重ねて参りました。

現在、そして未来においても、理研は、科学者自身が究めたいと願う研究が、人類の未来のために必要となる学知の創造と重なり、科学と社会との相互の信頼が深まることで、互いにつながっていく場であることを目指しています。

また新たな挑戦として、理研の有する最先端研究プラットフォーム群（スーパーコンピュータ「富岳」、量子コンピュータ、大型放射光施設SPring-8/X線自由電子レーザー施設SACLA、バイオリソース事業など）を有機的に連携させ、新たな知の領域を、研究分野を超えて効果的に生み出す革新的な研究プラットフォームを創り出すプロジェクトTRIP（Transformative Research Innovation Platform of RIKEN platforms）を開始しています。

理研寄附金は、理研と社会の皆様とを直接繋ぐ大切な「絆」となっています。私たちは、少しでも多くの方々に理研を知っていただき、「理研ファン」となっていただきたい想いから、支援者の輪を広げるための活動を行っています。

２０２３年度も、たくさんのご支援者の皆様から、多くのご支援をいただくことが出来ました。心より深く感謝申し上げます。

みなさまから賜りました寄附金は、みなさまと理研を繋ぐ大切な「絆」として、無から有を生み出す知の創造のために、そして地球と人類の未来の成長をもたらす光となる活動のために、大切に使わせていただいております。

みなさまから頂くご支援と応援のメッセージは理研研究者の「力」となっております。

今後とも理研の活動にご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

理化学研究所理事長

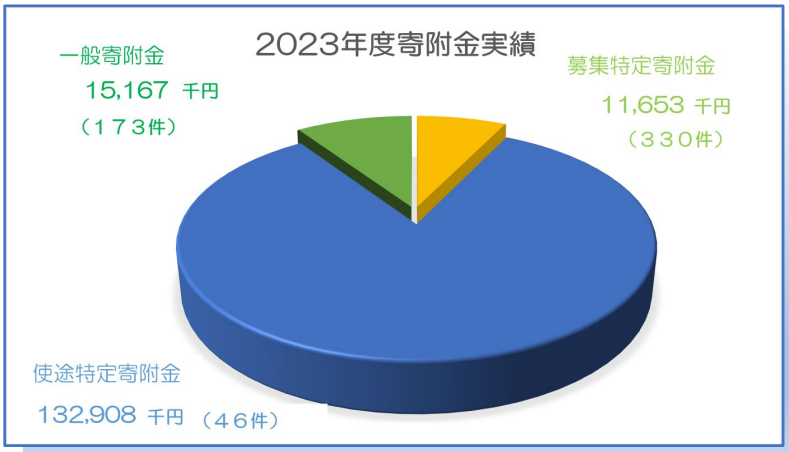
五神　真

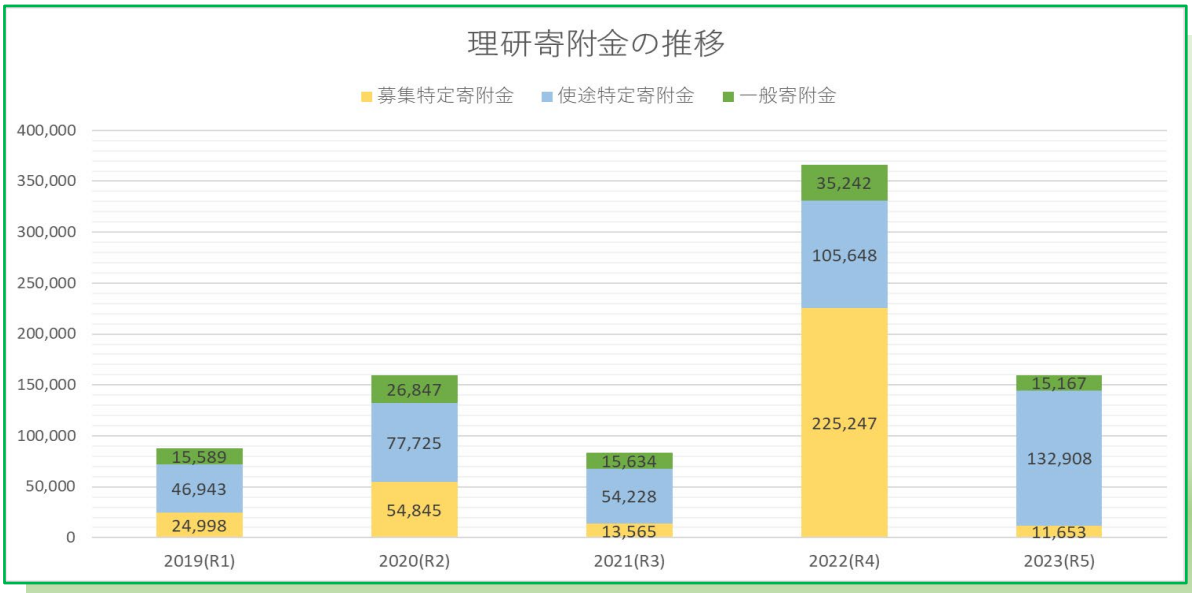
Ⅱ　２０２３年度　寄附金の活用状況

寄附金の実績

２０２３年度も多くの寄附者の皆様から、総額約１億６千万円・総寄附件数５４９件にも上るたくさんのご支援をいただきました。心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

区　分	2023(R5)年度		
	件 数	金 額（千円）	構成比
募集特定寄附金	330	11,653	7.3%
使途特定寄附金	46	132,908	83.2%
一般寄附金	173	15,167	9.5%
合　計	549	159,727	100.0%





（単位：千円）

区　分	2019(R1)		2020(R2)		2021(R3)		2022(R4)		2023(R5)	
	件 数	金　額	件 数	金　額	件 数	金　額	件 数	金　額	件 数	金　額
募集特定寄附金	380	24,998	811	54,845	54	13,565	601	225,247	330	11,653
使途特定寄附金	54	46,943	62	77,725	55	54,228	41	105,648	46	132,908
一般寄附金	124	15,589	140	26,847	120	15,634	158	35,242	173	15,167
合　計	558	87,530	1,013	159,417	229	83,428	800	366,138	549	159,727

寄附金の使いみち

みなさまからご支援いただいた寄附金は、理研の様々な研究活動等に有効に活用させていただいております。

★一般寄附金

- 生命医科学研究と倫理をめぐる市民と理研との協働
- ニホニウム誕生20周年記念科学講演会
- 顕微鏡技術の普及に向けた人材育成・確保・輩出の強化
- AI・数理・情報系女子学生サマーキャンプ
- 「科学道」を用いた広報活動の展開

★募集特定寄附金

- 次世代器官再生医療に向けた基礎・応用化研究支援寄附金
- SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金
- 若手AI研究者育成支援寄附金
- 理研CBS未来ファンド－脳とこころの研究　未来を拓く寄附
- 量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金
- 量子コンピュータ開発のサポーター募集（クラウドファンディング）

★使途特定寄附金

- 放射光科学研究センターにおけるソフトマター構造科学のための先端計測手法及びデータ解析方法の開発に関する研究促進
- 主として脱炭素化社会実現に向けた取り組みやイノベーションに貢献する研究等を支援
- 科学・産業イノベーションの創出活動の推進および、社会課題の解決とSDGsの達成に向けた取り組みへの支援
- 脳神経科学研究センター分子精神病理研究チームにおける統合失調症などの難治性精神疾患の病理の解明の研究支援
- 開拓研究本部渡邉分子生理学研究室における次世代のリキッドバイオプシーへの研究支援
- 開拓研究本部伊藤ナノ医工学研究室長田義仁客員主管研究員による分子情報生命科学の研究促進
- 環境資源科学研究センター生命分子解析ユニット専任研究員中山洋先生への研究支援

- 環境資源科学研究センター 植物化学遺伝学研究チーム岡本 昌憲 チームリーダーの植物ホルモンの作用を利用した作物の改変研究に対する研究支援
- 生命機能科学研究センター先端NMR開発・応用研究チーム　高橋雅人客員研究員による高温超伝導バルク磁石NMRの研究支援
- 環境資源科学研究センター バイオプラスチック研究チームへの研究支援
- 環境資源科学研究センター技術基盤部門質量分析・顕微鏡解析ユニット豊岡公徳上級技師による電子顕微鏡解析に関する研究支援
- 生命医科学研究センター 生命医科学大容量データ技術研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チームへの研究支援
- 生命医科学研究センター 免疫細胞治療研究チームへの研究支援
- 数理創造プログラムへの研究支援
- 環境資源科学研究センター 技術基盤部門質量分析・顕微鏡解析ユニットへの研究支援
- 『異分野交流のタベ』にかかわる人材育成研修のため
- 計算科学研究センター松岡聡センター長への研究助成
- バトンゾーン推進研究プログラム藻類資源アップサイクル研究チーム大津巌生客員研究員の水素エネルギーを基幹とした地域・食料生産エネルギーシステムに関する研究に対する研究助成
- バトンゾーン研究推進プログラムにおける加齢黄斑変性の研究支援
- 脳神経科学研究センターにおける神経動態医科学連携の研究支援
- 生命医科学研究センターヒト疾患モデル研究チームの石川文彦チームリーダーの共同研究グループによる『急性骨髄性白血病治療の研究支援
- 脳神経科学研究センター認知睡眠学理研白眉研究チームへの研究支援
- 脳神経科学研究センター 多階層精神疾患研究チームの研究支援」
- 生命機能科学研究センター血管形成研究チームPhng, Li Kunチームリーダーの研究支援および学会や出版物での研究普及の支援」
- 女性科学者間の交流/ネットワーキングを促進するための活動への支援および寄附金は、ダイバーシティWG BDRが主催する交流会の飲食代として使用できること
- 創発物性科学研究センター創発物性計測研究チームの研究支援
- 情報統合本部情報システム部研究基盤課における図書館の図書雑誌購入費
- 脳神経科学研究センター神経動態医科学連携研究チーム中冨 浩文チームリーダーの「脳動脈瘤」の発症に係る遺伝子変異への研究支援
- 数理創造プログラムにおける若手人材育成・若手研究者支援・異分野研究者の交流促進
- 脳神経科学研究センター多階層精神疾患研究チームにおける統合失調症を始めとする精神疾患の発症機序の根本的解明に関する研究促進
- 開拓研究本部 榎戸極限自然現象理研白眉研究チームによるスカイツリーにおける雷観測の研究支援

クラウドファンディング
量子コンピュータ開発のサポーター募集・理研RQC

募集特定寄附金
募集特定寄附金 量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金

RIKEN QUANTUM COMPUTING　量子コンピュータ研究センター（RQC）

量子コンピュータ研究センターでは、量子力学の原理に基づく革新的な情報処理技術としての量子コンピュータの実現を目指して、ハードウェアからソフトウェアまで、また基礎科学から応用まで一貫した研究開発に取り組み、量子技術の可能性を拡げていきます。

RQCでは、当面の課題として、量子コンピュータをスケールアップさせる開発と量子コンピュータの本格的な利用研究を進めています。

世界での量子コンピュータ開発は、数百～数千の量子ビットの集積回路を開発しているのに対し、社会実装可能な量子コンピュータには100万量子ビット級の集積化が必要と言われています。他にも、エラー訂正・誤り耐性量子計算の実現など、課題はつきません。社会実装可能な量子コンピュータの実現に向けてはまだ長い道のりの途上と言えます。

また利用研究については、理研が有する世界トップクラスのスーパーコンピュータ（スパコン）「富岳」などと量子コンピュータを連携させて、今後の科学技術・イノベーション・産業の発展の鍵となる新たな計算可能領域の開拓を目指し「量子・スパコン連携プラットフォームの研究開発」を進めてまいります。

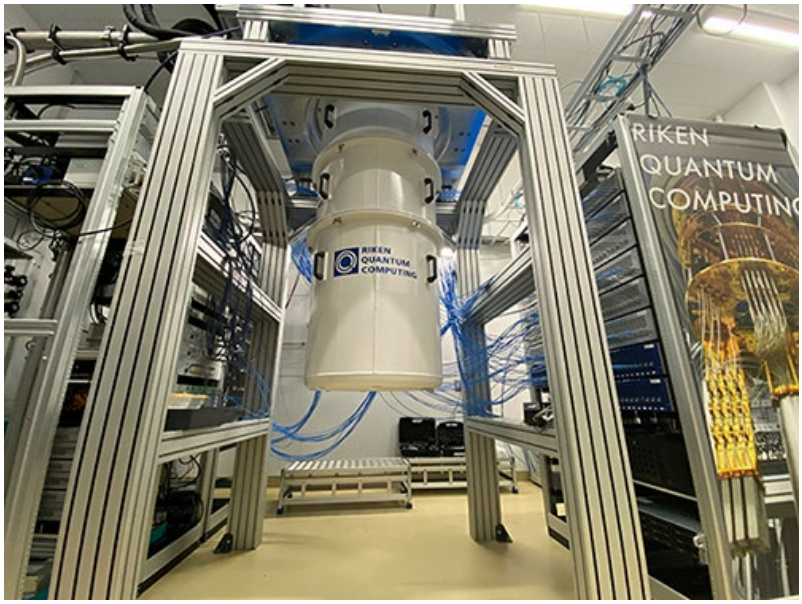
量子コンピュータ研究センター長　中村泰信

このような量子コンピュータ開発の長い競争においてRQCが貢献していくためには、優秀な人材を世界中からRQCに集結させ、共に研究していくことが求められます。そうした人材を惹きつけるために、国際的に量子情報研究に関わる人材育成の受け皿となり、世界からRQCで研究したいと思わせる研究の場を作り上げていく必要があります。

RQCでは、次世代を担う若手研究者を量子情報科学分野に惹きつけ、量子研究を支援する活動をしていきます。国内外の学生・研究者の招聘及び留学、研究者間の交流を促進することで、研究者育成を行い、全く新しいブレイクスルーをRQCから産み出すことを目指しています。

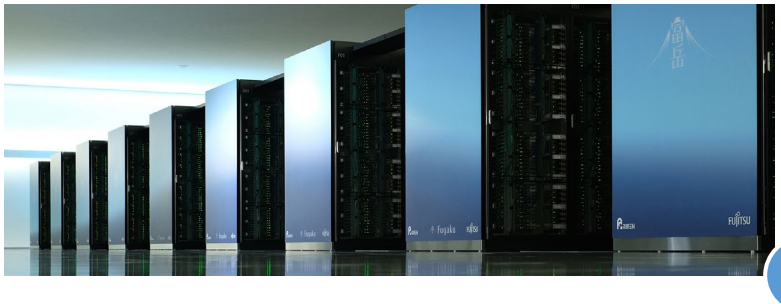
このたびのクラウドファンディングでは、多くの方にご賛同いただき、「RQCサポーター」になっていただきました。クラウドファンディングに引き続く募集特定寄附金においても、多くの方々からご支援をいただいております。皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

皆様からいただいた寄附金は、私たちの研究を進める原動力として、次世代を担う若手研究者の育成に活用させていただいております。引き続き皆様のご支援をお願い申し上げます。



2023年3月27日にクラウド利用を開始した国産超伝導量子コンピュータ初号機「叡（えい、英語表記は“A”）」

「量子・スパコン連携プラットフォームの研究開発」では、理研計算科学研究センター（R-CCS）のスーパーコンピュータ「富岳」も活躍する。



一般寄附金

グローバル感染症研究の促進による新薬創出

生命機能科学研究センター（BDR）
高機能生体分子開発チーム

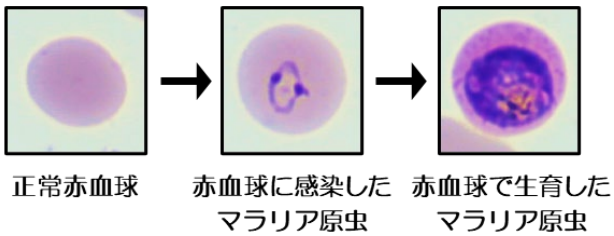
理研BDR 高機能生体分子開発チームでは、合成生物学・構造生物学的手法を用いて高度な機能性を付与した生体分子の開発に取り組んでいます。具体的には、ペプチドやRNAの試験管内進化、タンパク質のX線結晶構造解析などの先端技術を組み合わせることで、細胞機能を制御する新たな生体分子を創出し、基礎生物学や創薬への応用を目指しています。

「世界三大感染症」の一つである“マラリア”は、その病原体であるマラリア原虫と共生するハマダラカによって媒介される感染症です。近年、WHOの推計では、世界100カ国以上の熱帯・亜熱帯地域で流行しており、年間2億人以上が感染し、約60万人が死亡しています。（その多くは10歳未満の子供たち）

理研BDR 高機能生体分子開発チームの和田 章 専任研究員らは、赤血球に感染するマラリア原虫の生命活動の理解から、原虫の増殖機能を特異的に抑制する低分子化合物を探索し、新たなマラリア治療薬の開発を目指して取り組んでいます。そして今回、皆様からご支援いただいた寄附金は、本研究の推進に必要な試薬購入や分析業務などに役立てております。

現在、本研究では、マラリアは勿論のこと、蚊が媒介するジカ熱やデング熱などに対抗する新薬創出の可能性も見出しており、グローバル感染症研究の更なる発展に期待を寄せています。そして、理研で実施する創薬研究が、熱帯・亜熱帯地域の感染症問題を解決する一助となり、世界の誰もが享受できる新たな医薬品の開発に貢献できればと考えております。皆様のご支援に改めて厚く御礼申し上げます。

マラリア原虫の赤血球への感染と生育



正常赤血球　赤血球に感染したマラリア原虫　赤血球で生育したマラリア原虫

高機能生体分子開発チーム
和田　章　専任研究員

一般寄附金

研究工作支援サービスの拡充(レーザーマーカーの導入)

光量子工学研究センター（RAP）
技術基盤支援チーム

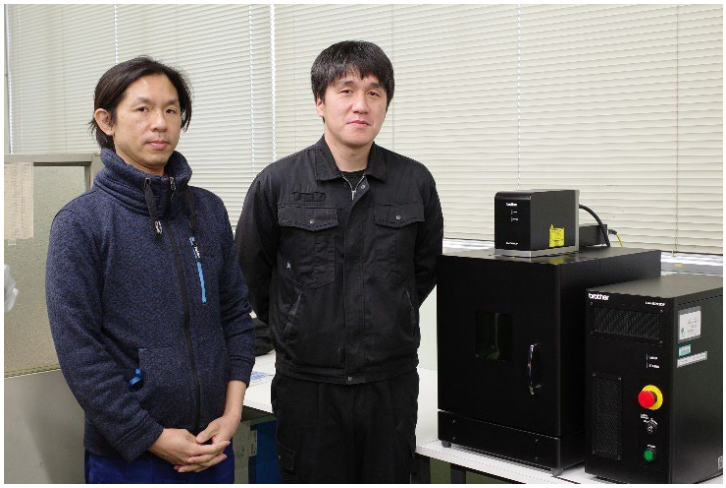
光量子工学研究センター（RAP）技術基盤支援チームでは、理研のほぼすべての研究セクターに対して、研究者からの依頼に応じた様々な科学研究用実験装置の設計・製作を請け負って、年間500～700件の研究機器／部品製作を通じて、様々な分野の研究推進に貢献しています。

広範な分野にわたって基礎および応用の研究を実施している理研においては、その研究を円滑かつ効率的に推進していくため、様々な先端的研究用実験装置の確保、あるいは装置改造等が必要不可欠となっています。

当チームの使命は、研究者からの要求に応じて、それらの装置を開発、製作することにあり、装置の構想・詳細設計、製作、あるいは既設装置の改良・改修等を一貫して行うことにあります。当チームでは研究者のニーズにこたえ、年間に１０００点を超える数の部品を製作して理研の研究を支えています。

このたびは、皆様からご支援いただいた寄附金で、「レーザーマーカー」を導入しました。これによって、樹脂や金属の各部品へ高精細かつダメージレスな印字（刻印）が可能となり、チームの製造効率が格段に向上するだけでなく、研究機器を操作する際の研究者の利便性向上など、研究の効率化に大いに役立っています。

これからも、エンジニアリング能力と製造技能を磨きながら、理研の研究を支え続けていきます。皆様のご支援に心より御礼申し上げます。



技術基盤支援チーム専門技術員（左から）
綿貫正大・藤本　武・レーザーマーカー

様々な材質・形状のものに刻印する
ことが出来る。

Ⅳ　理研寄附金のご案内

理研では様々な形でご支援いただくためのメニューをご用意しております。

★理研の活動全般に対してご支援いただく寄附金（一般寄附金）

※次の７つの目的に沿った研究活動や取り組みに活用させていただいています。

- 社会的注目度の高い分野・テーマの研究促進
- 話題性に富む成果の普及・紹介の強化
- 研究環境の整備
- 人材育成・確保・輩出に向けた取組の強化
- 国際化に向けた取組の強化
- 所内外の連携・共同利用の促進
- 研究成果の社会還元に向けた取組の強化

★SDGｓへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金

★若手ＡＩ研究者育成支援寄附金

★量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金

★理研CBS未来ファンド　脳とこころの研究 未来を拓く寄附金

★バイオリソース高度化プロジェクト ～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

★ご支援者のみなさまに寄附金の使途を選んでいただき、ご支援いただく寄附金（使途特定寄附金）

★クラウドファンディング

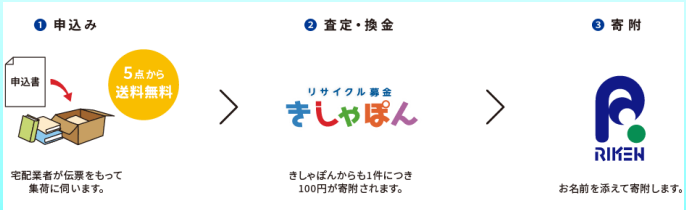
プロジェクトを企画して、クラウドファンディングプラットフォームの「レディーフォー」を通じて広く社会の人々に寄附をお願いする寄附金（募集特定寄附金）

ウェブサイト　https://readyfor.jp/

READY FOR

★リサイクル募金

ご不用になった古本・DVD・CD・ゲームなどをリサイクルすることで、その査定額を理研へ寄附していただく寄附金（一般寄附金）



ウェブサイト　https://kishapon.com/about/

遺贈によるご寄附について

遺贈寄附には以下のような方法があります。

遺贈寄附をご検討の方は理研寄附金担当までご相談ください。

遺言による寄附	相続財産の寄附	信託による寄附	香典からの寄附	その他の寄附
ご本人が遺言書を作成して行うご寄附	相続人が受け継いだ財産から行うご寄附	信託銀行など、信託を引き受ける方との契約によって行うご寄附	葬儀等に寄せられたお香典やお花代のお返しに代えて行うご寄附	生命保険信託によるご寄附や贈与契約によるご寄附

理化学研究所への遺贈寄附では、以下の優遇措置を受けることができます。

相 続 税

●遺言によるご寄附

ご遺贈いただいた財産は、相続税の課税対象になりません。

●相続財産のご寄附

ご寄附いただいた相続財産には、相続税がかかりません。
（相続税の申告期限までにご寄附された場合）

所得税・住民税

●所得税

理化学研究所は税制上の「特定公益増進法人」となっており、一定の優遇措置を受けることができます。（確定申告が必要となります。）

●住民税

お住まいの自治体により、個人住民税の控除も受けられます。

寄附者の特典

ご支援いただいた寄附者のみなさまには、特典をご用意しています。

ご支援いただいた寄附金によってオリジナルの特典が用意されることもあります。

※特典はご希望された方を対象としています。

- **寄附者の御芳名を公表**
  ご寄附いただいた個人の氏名又は法人の社名を、寄附者ご芳名一覧　として理研ウェブサイトで公表させていただきます。
- **科学講演会のご案内**
  理研の最前線で活躍する研究者が講演する「科学講演会」の御案内をお送りします。
- **寄附者の会「理研を育む会」へのご入会**
  ご寄附いただいた皆さまを「理研を育む会」の会員にお迎えします。

税法上の優遇措置

理研は税制上の「特定公益増進法人」となっています。理研への寄附金は確定申告を行うことで、国税（所得税又は法人税）及び地方税（個人住民税）について、税法上の優遇措置を受けることができます。

➢ 個人寄附の場合

＜所得税＞

その年中に支出した特定寄附金の合計額（総所得の40%相当額が限度）から2,000円を引いた額を総所得の合計額から控除することができます。

＜個人住民税＞

次のとおり個人住民税（個人県・府・市町村民税）の寄附金税額控除を受けることができます。（県・府と市区町村のどちらも指定している場合はそれぞれ控除されます。）

- 個人県・府民税は、県・府が指定した寄附金の合計額（総所得の30%相当額が限度）から2,000円を引いた額の４%
- 個人市町村税は、市町村が指定した寄附金の合計額（総所得の30%相当額が限度）から2,000円を引いた額の６%

➢ 法人寄附の場合

＜法人税＞

一般の寄附金とは別枠で損金の額（（所得の6.25%相当額＋資本金等の0.375%相当額）×1/2が限度）に算入することができます。

「理研を育む会」（寄附者の会）

御寄附をいただいた皆様を「理研を育む会」の会員にお迎えしています。入会・退会は自由で、入会金・会費は無料です。

理研への寄附金額累計で、一定の金額以上をご寄附いただいた方には会員称号と記念プレートを贈呈します。

また、ご同意をいただいた会員の皆様は、個人にあっては氏名を、法人にあっては社名を会員名簿に掲載し、ホームページ等で公表します。

会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ

紺綬褒章（国の褒章制度）

公益のために私財を寄附された方に授与される「紺綬褒章」に推薦させていただくことがあります。

授与基準に基づき、
個人　500万円以上
団体1,000万円以上
のご寄附を対象としております。

紺綬褒章の授与に際しましては、理化学研究所より特製の顕彰額を進呈させていただきます。

Ⅴ　ご寄附の流れ

理研へのご支援は、クレジットカード決済または銀行振込によりお手続きをお願いします。

理研寄附金ホームページの寄附メニューから選択
https://www.riken.jp/support/

クレジットカード決済（オンライン申込）	銀行振込	
簡単・スピーディー！ おすすめ	簡単・スピーディー！ オンライン申込	書面申込書ダウンロード
寄附申込みの必要事項とクレジットカード情報を入力してください。	寄附申込みの必要事項を入力してください。	寄附申込みの必要事項を入力・記入のうえ、原紙を（申込書送付先住所）へ郵送いただくか、Emailにてファイルを添付してご送付ください。。
「[××××××]申込受付のお知らせ」メールが自動配信されます。	「[××××××]申込受付のお知らせ」メールが自動配信されます。	
理研にてお申込内容を確認後、受け入れが確定しましたら、決裁承認を行います。「[××××××]ご寄附の受入及び決済完了のお知らせ」メールが届きましたら、寄附手続きは完了です。	理研にてお申込内容を確認後、受け入れが確定しましたら、寄附金振込先口座情報を記載したフル込み依頼メールを送信します ※メールではなく,郵送書面による振込依頼書が必要な場合は、『郵送書面による振込先案内を希望』へ☑にてお知らせください。	
※領収書発行日（書面日付）は、各クレジットカード会社から理研への入金日となります。寄附金の受付日及びクレジットカード決済口座からの振替日ではありませんので、ご承知おきください。 ※理研は、カード番号、限度額等のクレジットカード情報の内容確認と保有は一切行っておりません。	銀行振込みをお願いします。 お振込みによって寄附手続きが完了します。 （振込手数料はご負担をお願いします。）	

＜申込書送付先住所＞
〒351-0198　埼玉県和光市広沢2番1号
国立研究開発法人理化学研究所
連携促進部　協創連携推進課（W-C17）

Ⅵ　募集中の寄附テーマ

★SDGsへの貢献に向けた環境資源科学研究及び研究者育成支援に関する寄附金

植物科学研究をはじめとした異分野融合研究により、環境問題や食料問題、健康問題など様々な社会的課題の解決を目指す環境資源科学研究センターにおいて、次世代を担う研究人材を育成します。

●主な使途：研究費、若手研究者の育成支援
●募集金額　１億円
●募集期間：2021年1月12日 ～2025年3月31日

環境資源科学研究センター（CSRS）

★若手AI研究者育成支援寄附金

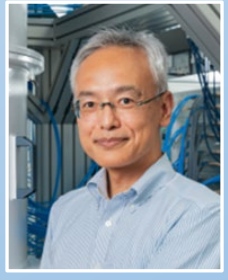
革新的な人工知能基盤技術を開発し、科学研究の進歩や実社会における課題解決に貢献することを目指す研究センターにおいて、世界的に不足しているAI（人工知能）関連研究者を育成します。

●主な使途：若手研究者の支援（派遣、留学、学会参加等）
●募集金額：２億円
●募集期間：2019年9月1日～2025年3月31日

革新知能統合研究センター（AIP）

★量子情報科学・量子コンピュテーション開拓支援寄附金

量子コンピュータ研究センターでは、量子力学の原理に基づく革新的な情報処理技術としての量子コンピュータの実現を目指しています。優秀な人材を世界中からRQCに集結させ、共に研究していくために、次世代を担う若手研究者を量子情報科学分野に惹きつけ、量子研究を支援する活動をしていきます。



●主な使途：量子科学研究者の育成、研究環境の整備等
●募集金額：1億0545万7181円（※ディラック定数より引用）
●募集期間：2023年７月３日～2028年3月31日

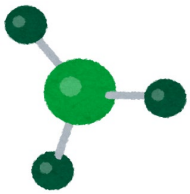
量子コンピュータ研究センター（RQC）

★理研CBS未来ファンド　ー脳とこころの研究 未来を拓く寄附金

脳神経科学研究センターでは、脳・神経疾患の克服等を目指して、脳と心の仕組みを根本から理解するための基礎研究を推進しています。基礎研究は大きな成果を生むために長期間を必要とするため、熱意と新しい視点、挑戦意欲を持った若手の研究人材を育成していきます。

●主な使途：若手研究者の育成支援
●募集金額　6千5百万円
●募集期間：2023年9月1日 - 2028年8月31日

脳神経科学研究センター（CBS）



★バイオリソース高度化プロジェクト
～世界のライフサイエンス研究を支えるために～

バイオリソース研究センターでは、バイオリソースに関する世界最大級の研究基盤として、生命科学分野で使用される主要な5種類のバイオリソース（実験動物マウス、実験植物、iPS細胞等のヒト及び動物由来細胞株、培養微生物株、これら由来の遺伝子材料）と付随する情報を収集・保存し、必要とする国内外の研究者に提供しています。

本事業では、社会的ニーズ・研究ニーズに応える、特性情報も揃った、より付加価値の付いたバイオリソースを提供するために、更に加速して特性情報の解析を実施することで、ライフサイエンス研究に貢献します。

●主な使途：ゲノム情報や表現型情報等の特性情報をデータベースとして整備
●募集金額：１３億５２００万円
●募集期間：2024年7月1日 - 2034年3月31日

バイオリソース研究センター（BRC）

Ⅶ　クラウドファンディング

★量子コンピュータ開発のサポーター募集

２０２３年度においては、「量子コンピュータ開発のサポーター募集」プロジェクトを実施しました。このプロジェクトでは、延べ７千人のサイト訪問者と約３００人の方々に「RQCサポーター」になっていただき、温かい応援メッセージとともに合計７９７万３千円ものご支援をいただきました。

また、同時に募集した量子コンピュータの愛称は「叡（えい、英語表記は“A”）」と名付けられました。

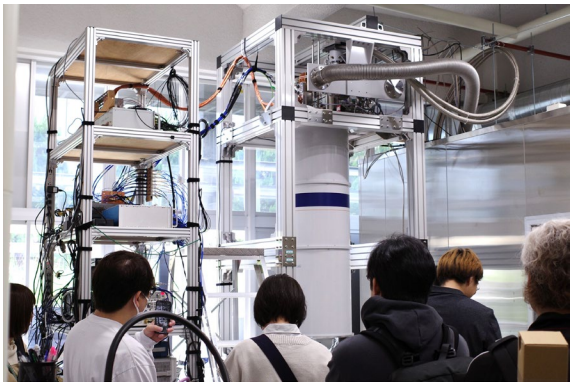
★量子コンピュータ見学会（返礼品）

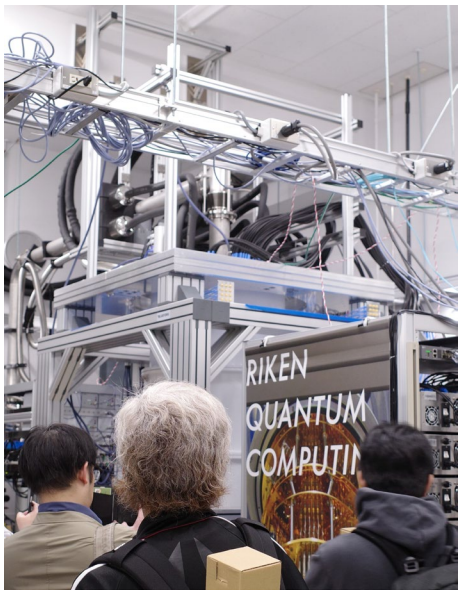
クラウドファンディングの返礼品の一つ、研究施設見学ツアーを実施しました。当日は量子コンピュータ研究センター（RQC）の中村センター長から、ご支援へのお礼とともに、量子コンピュータの研究概要について説明しました。

その後、量子コンピュータ研究施設へご案内し、超伝導量子コンピュータをはじめとして、複数の量子系実験室で最先端実験機器を体験して頂きながら、RQCの研究者から研究の説明をしました。

幅広い世代で来所された見学者の皆様からの質問は鋭く、研究内容や研究施設への関心の強さが伝わって来ました。

通常は、公開を行っていない研究施設のため、見学者の皆様にとっても貴重な機会になったことと思います。





Ⅷ　トピック

紺綬褒章

アール・ナノバイオ株式会社様に紺綬褒章が授与されました。

※ 紺綬褒章は、公益のために私財を寄附された方に授与される国の報奨制度です。

理化学研究所 仲真紀子理事から、
アール・ナノバイオ株式会社
伊藤嘉浩社長に紺綬褒章を伝達させていただきました。

理研を育む会

2023年度は個人2名、法人7社の方々に会員称号と記念プレートを贈呈させていただきました。

※ 寄附金額の累計が一定の金額に到達された方には、会員称号と記念プレートを贈呈させていただいております。

会員称号	累計寄付額	記念プレートの種類
栄誉会員	1億円以上	ゴールド
名誉会員	1千万円以上 1億円未満	シルバー
功労会員	百万円以上 1千万円未満	ブロンズ

★シルバープレート（名誉会員）

（法人）

三井住友ＤＳアセットマネジメント株式会社　様

バイオテック株式会社　様

株式会社竹中工務店　様

★ブロンズプレート（功労会員）

（個人）

箱木　寿範　様

太田　稚佳代　様

（法人）

株式会社梓設計　様

株式会社鈴木商館　様

株式会社服部　様

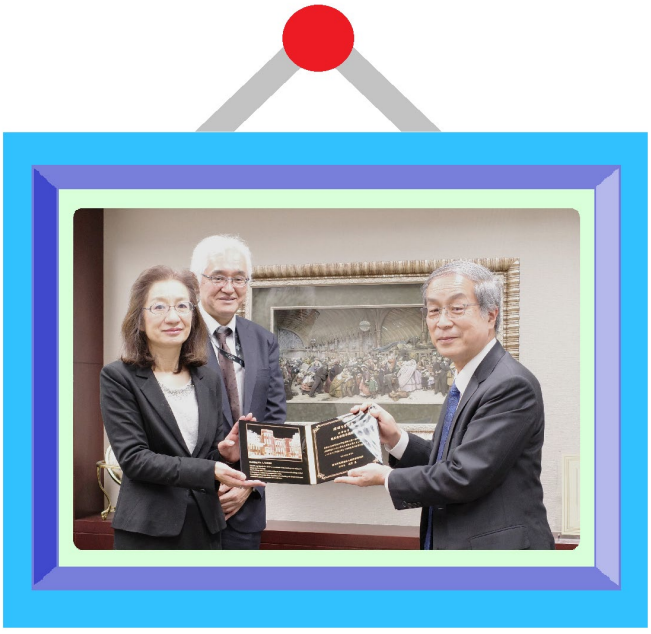
他1社様

三井住友DSアセットマネジメント 株式会社　様

バイオテック 株式会社 様

株式会社 竹中工務店 様

株式会社 梓設計 様



株式会社 鈴木商館　様

株式会社 服部　様

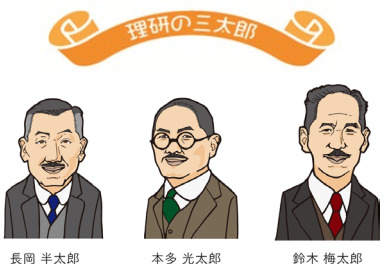
理研一般公開

２０２３年度は、仙台、和光、横浜、筑波、神戸、播磨の６事業所において「理研一般公開」を開催しました。入場制限や一部オンラインとのハイブリッドもありましたが、大盛況で、たくさんの方々にご来場いただきました。各地区の会場では、初めて寄附金のブースを出展し、寄附金のご案内や活用状況の説明、皆さまとの意見交換などを実施しました。

小さなお子様から大人の方々まで、寄附金による研究成果のポスターや歴史上の科学者である「理研の三太郎（長岡半太郎、本多光太郎、鈴木梅太郎）」グッズなどを通して、科学への興味・関心を持つ機会となるとともに、特に大学生や大人の方々との対話では、理研を超えた日本の科学研究に対するご意見や、理研への想いなどを伺うことができました。

一般公開にご来場いただいた方々との対話は、今後の寄附金活動にも大変貴重な絆の時（機会）となりました。

今後も一般公開へのご来場と寄附金ブースへのお立ち寄りを心よりお待ちしております。



科学の力で素敵な未来を育てます

RIKEN

【お問い合わせ】
国立研究開発法人理化学研究所
連携促進部　協創連携推進課（W-C17）
〒351-0198　埼玉県和光市広沢２－１

理研サポーター募集中

RIKEN 2024-042